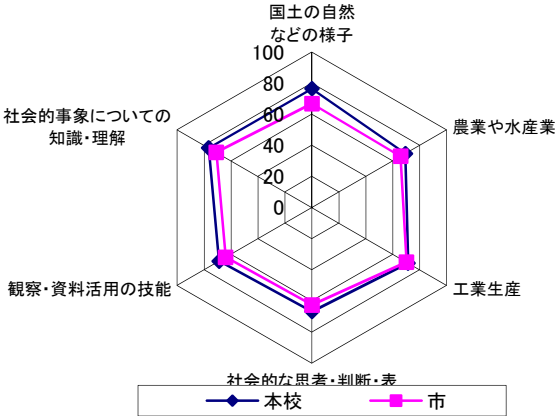


宇都宮市立豊郷中央小学校 第5学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	国土の自然などの様子	76.3	66.7
	農業や水産業	69.4	65.8
	工業生産	71.3	70.2
観点別	社会的な思考・判断・表現	66.8	62.7
	観察・資料活用・技能	68.9	64.1
	社会的現象についての知識・理解	76.6	70.9



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然などの様子	○平均正答率は市の平均を10%近く上回っている。日本の国土と人々のくらしは、正答率70.8%で、また世界の中の国土についても、正答率は、81.8%であり、宇都宮市の平均を上回っている。	○国土の自然などの様子の学習では、国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを広い視野から考えて理解できるようにする。 ○地図帳や地球儀を活用したり、調べて確認したことを白地図にまとめたりするなどの具体的な活動をさらに多く取り入れながら、世界の中の日本の位置関係や特色を理解し活用できるようにする。
農業や水産業	○平均正答率は市の平均を3.6%上回っている。日本の農業の正答率は81.4%で、宇都宮市の平均の77.7%を上回り、また、日本の水産業についても、正答率は64.8%で、市の平均の60.6%を上回っている。日本の食料生産の正答は60.4%で、宇都宮市の58.3%を少し上回った。	○食料生産は、国民の食生活と密接なかかわりをもつことから、地形や気候などの自然環境や社会的条件を生かして生産を高める工夫や努力をしていることを具体的に調べ、理解を深めていくようにする。 ○地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を活用し、資料から必要な情報を読み取ったり、資料に表されている事柄の全体的な傾向をとらえたりするなど、資料活用能力をさらに高めていく。
工業生産	○平均正答率は市の平均とほぼ同じである。自動車をつくる工業の正答率は85.8%、工業生産と貿易の正答率は41.7%で、市の平均とほぼ同じである。工業生産と工業地域の正答率は66.9%で、市の平均の64.5%を少し上回った	○分布図や統計資料などの活用を図り、主な工業生産の種類、工業地帯や主な工業地域の分布、立地などを調べ、日本全体の工業生産の現状や特色を具体的にとらえ考えることができるようにする。 ○地図や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用していくことで、社会的現象の意味について考える力や調べたことや考えたことを表現する力をこれからもつけていくようにする。